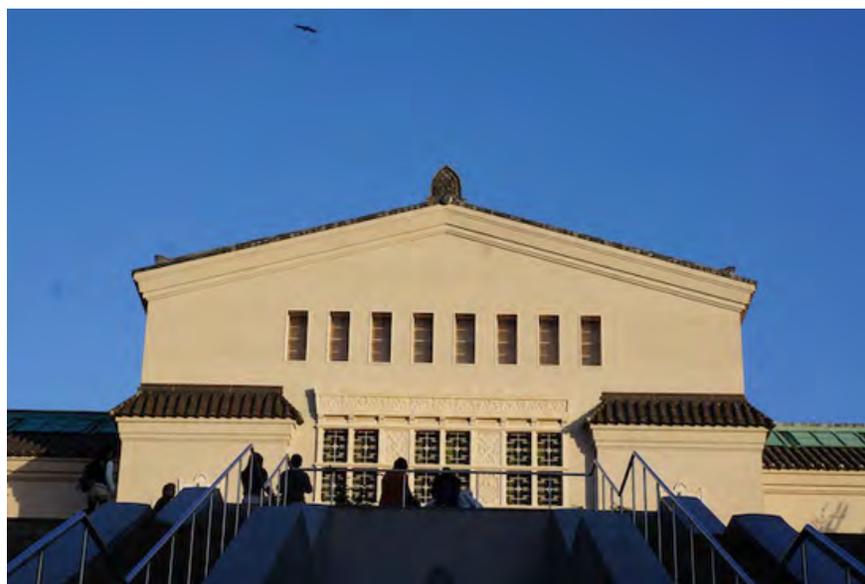


第102回二科展 巡回展（大阪展）



▲ 大阪市立美術館

■ 大阪巡回展は10月30日より11月12日まで、天王寺にある大阪市立美術館で開催しました。出品点数は673点。その内訳は、絵画 215点、彫刻 14点、デザイン 216点、写真 228点となります。

■ 本年度は、搬入が京都展の搬出日と重なり、また前日襲った台風22号の影響もあって、準備段階でかなり心配されました。結局、台風の影響は少なかったものの、絵画部では、業者の進行が悪く、時間を延長してのかなり焦った陳列となりました。しかしながら、期間中は、好天にも恵まれ、盛況のうちに終了することができました。来場者数は18329人、昨年より2000人の増加です。

■ 嬉しい増加の要因として、様々な事が考えられます。一つに、デザイン部による併設イベントである、ポストカード大賞展に小学生部門が生まれた点。もとより、私たち絵画部は、子供二科と称する子供のコンクールを併設していましたが、このポストカードの小学生部門も三世代の来館者に親しまれ盛況でした。

また、「大阪の秋の風物詩」として、この二科大阪展が定着しつつある点も、要因のひとつと考えられます。今回我々のチラシにもこの言葉が訴求されました。

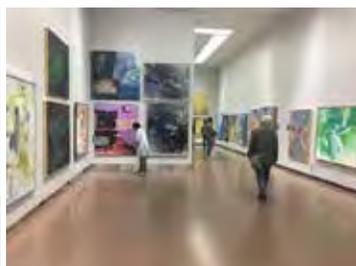
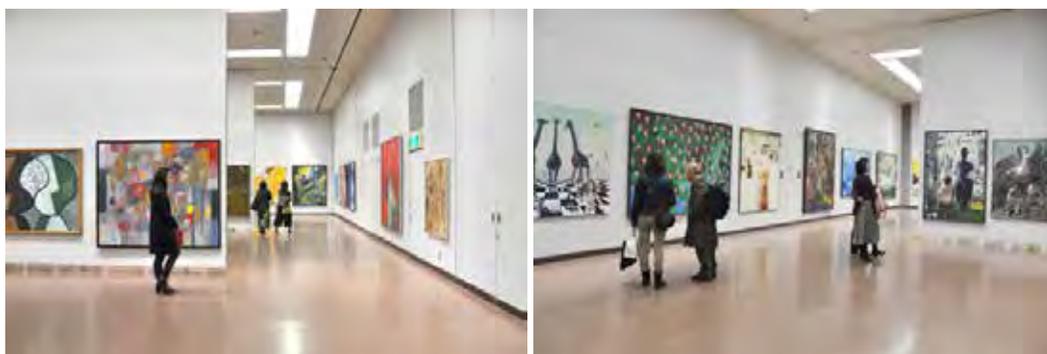


◀ 大阪巡回展のチラシとキャッチコピー

■ 今回はラジオ大阪による報道宣伝もあり、限られた媒体ではありますが、来場者獲得に一役支っていたとも考えられます。放送では、一般の人々に「美術に親しむことの素晴らしさ」を伝達してもらいました。また、本年度は我々関西支部より7人の受賞者を輩出できたことも、地域の嬉しい話題として来場意欲を活性したのかもしれませんが。

■ 本年度も、文化の日のロビーコンサートや、二科出品希望者の為の「ワンポイントアドバイス」も例年通り開催。大いに盛り上がりました。大阪展の絵画部では、通常、全ての全国巡回作品を展示しております。東京展の感動をここ関西でも、できるだけ多くの方々に伝えできればと願っております。
(絵画部会員 高畑 彰)

▼ 絵画部展示会場 ▼



出品希望者のための
▼ ワンポイントアドバイス風景



会期中に開催された
ミニ・コンサート風景 ▶



▲▶ 巡回展と同時開催された
こども二科展示会場と表彰式



▲ 懇親会風景
絵画部受賞者と推荐者

■ 彫刻部は、出品点数14点（会員11点、会友3点）

本展では、出品者の減少、伸び悩みが深刻な問題であるのだが大阪展も例外ではない。今回は、一般入選0（応募も0）というおそらく初めての事態となった。

善後策を何か考えることはもちろん必要なのだが・・・。

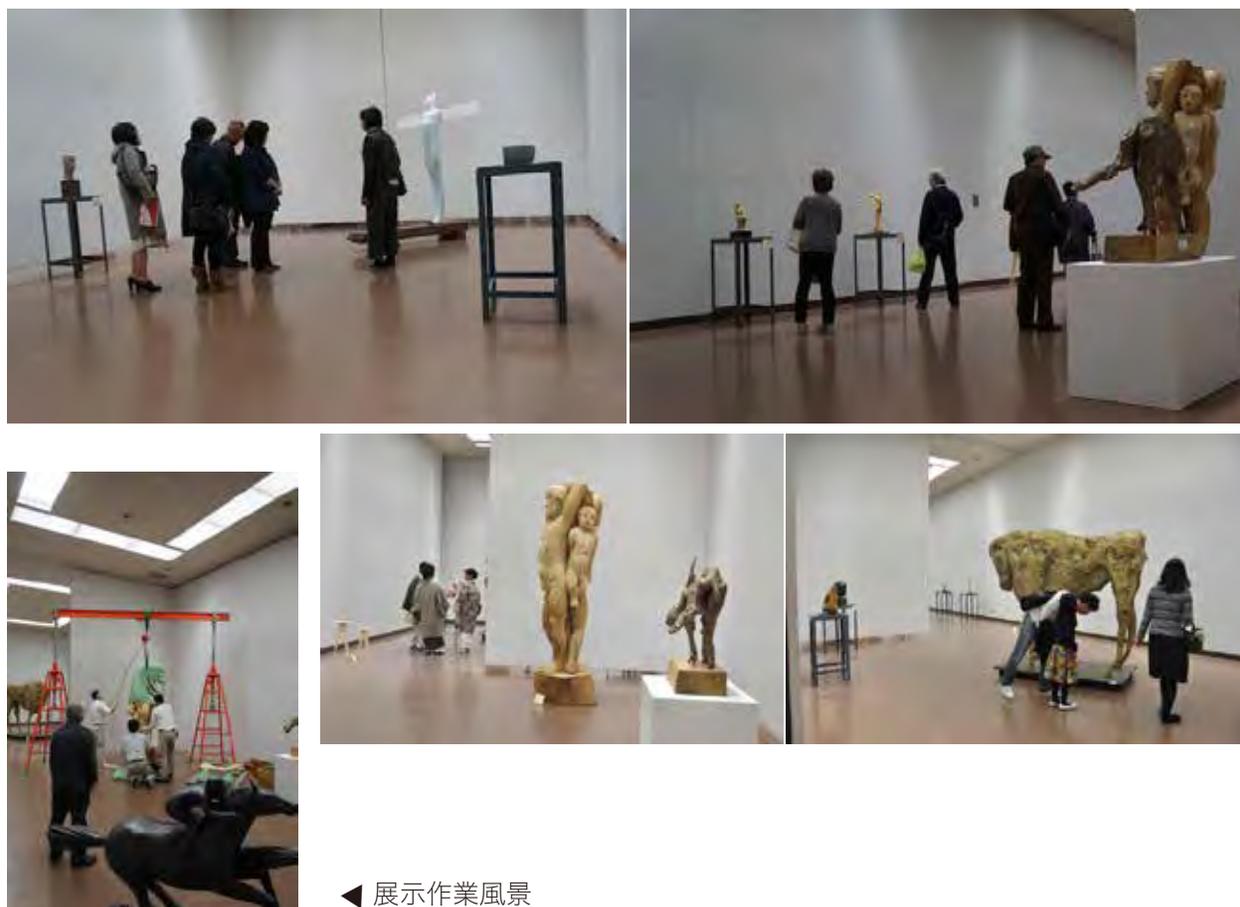
さて、大阪展彫刻部会場は ゆったりとしたスペースを取って展示され、作品にとっては贅沢とも言える空間である。こども二科展併催の関係で、例年家族連れ鑑賞者も多いが、今年は一点一点の作品を時間をかけてじっくり鑑賞されている姿が目についた。

会員はもちろんの事、会友も自らの制作を充実させる事が何より大切で、少ない点数でも緊張感ある空間を作らねばならないと思っている。

そんな中、吉田朋世の会友賞・橋本和明のローマ賞受賞は幸いな事といえる。亦、今年も昨年よりも鑑賞者数が増加したという結果も出て喜ばしい事ではあるが、出品点数減の現実と向き合っってその事をいかに考えるか・・・我々の「覚悟」が問われているように思う。

（文責：会員 橋本和明）

▼ 彫刻部展示会場 ▼



■ デザイン部は、●A部門=自由テーマ・ポスター（B1）●B部門=自由テーマ・イラスト（B2）●C部門=特別テーマ・ポスター／外務省・国土交通省 観光庁後援による「持続可能な観光国際年」（B1）●D部門=マルチグラフィック（B2）の4部門で構成されています。C部門は行政が取組む施策のテーマをデザイン部として採用し公募しています。

展示数は全国巡回作品159点（一般85点、会友27点、会員47点）と、関西地区出品作品57点（一般36点、会友9点、会員12点）の計216点を展示しました。

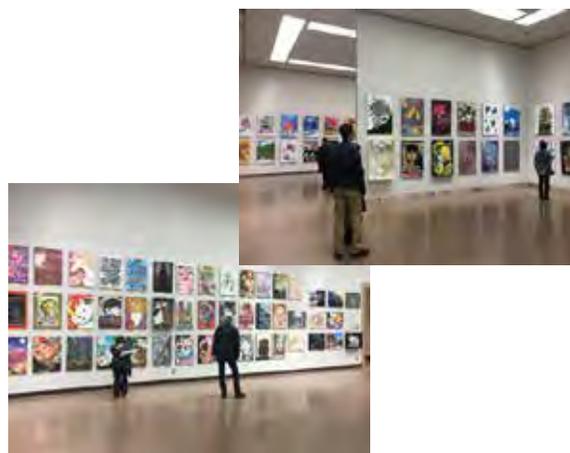
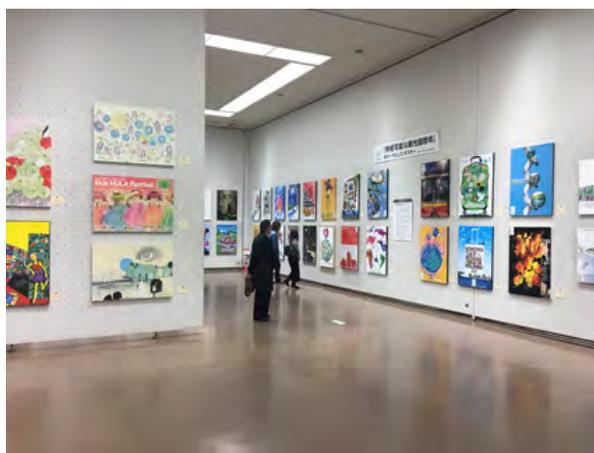
また、第15回を迎える全国ポストカードデザイン大賞は、前回から小学生部門を設け、デザイン部会場で展示しました。小学生・学生（中高生）・一般合わせて昨年のおおよそ200点アップの2,400点の応募があり、286点が入選しました。特に注目すべきは小学生部門で、新設と云うこともあってか昨年の応募者数が220と比較的少なく、それが今回450と倍増でした。早くも来年への期待が高まっております。ポストカードという小さな作品が意外や意外、力作揃いで様々な手法を駆使して観客の眼を釘付けにしていました。このポストカード展を通して二科展に足を運んでいただき、絵画や彫刻、写真、デザインに対する理解を深めてもらい『二科展の入観者増、ひいては二科展への出品』につながる一助になれば…と思っています。

二科大阪展の最終日には、ポストカードデザイン大賞の表彰式を小学生の部・学生の部・一般の部に分けて行い、式典には昨年同様、入選・受賞作品を拡大映写してムードの盛り上げをはかりました。

当日は父兄や関係者に伴われ、特に小学生部門には多数出席いただき美術館はヒートアップ。入選者・受賞者一人ひとりに入選状・賞状を手渡しました。表彰式終了後は、展示会場にてデザイン部会員 5名がワンポイントアドバイスをを行い、多くの参加者が、熱心に聴き、メモを取り、質問し、会場は熱気に溢れ好評を博しました。

（二科会デザイン部関西地区事務局／田野 勝）

▼ デザイン部展示会場 ▼



▼ デザイン部会場風景



盛況の全国ポストカードデザイン大賞
展示風景 ▶

■ 写真部は総計228点の作品を展示しました。

関西地区の大阪、兵庫、奈良、和歌山、京都、滋賀の名誉会員の作品が3点、会員の作品が27点、会友作品が46点。

全国から選出した名誉会員作品4点、会員作品34点、会友作品6点。大阪、兵庫、奈良、和歌山の一般入選作品38点。

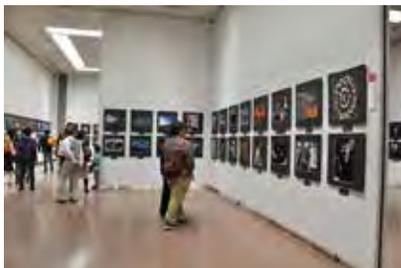
全国から選ばれた入賞作品28点。3枚を一組にした組写真、大阪、兵庫、奈良、和歌山で19点。

全国作品から選ばれた組写真の入賞作品26点で構成しました。

会期中の11月1日と11月8日に写真部会員によるギャラリートークを開催し、会場内で作品の解説を行い、両日とも、約50名の参加があり、質疑応答で来場者の皆様には、大変好評でした。今後も継続していきたいと思えます。

(写真部大阪支部 会員 水谷勝昭)

▼ 写真部展示会場 ▼



▼ 好評のギャラリートーク風景

